

マクール杯 ～GⅢオールレディース～

川野芽唯が純地元水面で貫録の優勝 好タイムで来年のSQMエントリーも

芦屋 1月11日～16日

WINNER 川野芽唯



かなり緊張してたのでホッとしました。最後までペラ調整をして良かったです。芦屋のオールレディースを連覇できて良かったです。今年はいい感じでスタートできたので、1年間集中してがんばります。また一走一走頑張るので応援よろしくをお願いします。

純地元の川野芽唯が地の利を生かし、素早く調整を合わせて最高の結果につなげた。優勝戦はインの川野が力強く押し切り優勝。2着に三浦永理、3着に寺田千恵が入線し、2連単・3連単ともに1番人気の決着だった。

優勝戦の上がりタイムは1分45秒9。節間2度目の1分45秒台で、1度目に出したのも川野だった。そのレースは初日12Rのドリーム戦で、タイムは1分45秒7。結局、これが今節最速の上がりタイムとなった。来年2月に鳴門で開催されるスピードクインメモリアルの選考はすでに始まっており、そこへ芦屋代表としてエントリーされるタイムをしっかりと叩き出した。

相棒の59号機は2連対率32%が示す通り、平凡なエンジンで好素性機との差はあったものの、日に日に気配を上向かせた。そして最終的には上位の一角、今年初戦を見事に優勝で飾った川野。3年連続クインズクラライマックス出場、そして10年ぶりの優勝を見据えて最高のスタートを切った。

負けない足に仕上げている。今節は強い追い風が吹く時間帯が多かったにも関わらず、「ドリーム、準優と大事なところで水面が良かったので、助けられましたね」と準優後に語っていたように、天候も味方につけていた。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	川野 芽唯	1	19	1.45.9
2	②	三浦 永理	2	15	1.48.6
3	③	寺田 千恵	3	12	1.49.7
4	⑤	長嶋 万記	5	15	1.51.2
5	⑥	福岡 泉水	6	18	
6	④	清水 沙樹	4	18	

2連単 ①-② 260円 1番人気 逃げ
3連単 ①-②-③ 580円 1番人気

マクール杯 ～ヴィーナスシリーズ第19戦～

大激戦の優勝争いを制したのは實森美祐 守屋美穂、田口節子の調整力も光った

児島 1月17日～22日

WINNER 實森美祐



レースではめちゃくちゃ緊張して、1マークでターンマークを大きく外しちゃいました。エンジンが良かったので、接戦をものにできたと思います。このあとたくさん優勝するためには、メンタルを鍛えないとダメですね。

児島のマクール杯は實森美祐が激戦を制し、通算2度目の優勝となった。

最終日は11Rまでインが11連勝する流れ。優勝戦もその流れになるかと思いきや、レースは大接戦。1マークで實森がターンを漏らしてしまい、その懐へ守屋美穂が鋭く差し切り込む。バックは並走となり、2マークで實森と守屋が大競り。そこへ田口節子が最内を突いて急浮上。直線では守屋と並び、實森は後方に置かれた。そして迎えた2周1マーク、コース有利に回る田口を守屋が強気に握って沈めた。しかし懐がぼっかり空き、實森が飛び込み再浮上。先行する守屋を捕らえて逆転し優勝を決めた。

児島でここまで先頭争いが二転三転するケースは珍しく、スタンドに詰め掛けたファンからも大きな歓声が上がった。結果は①-②-③と順当だが、レース内容は非常に濃厚な一戦だった。

節間を振り返ると、前検1番時計を出した實森がそのまま優勝という形になった。伸びは落ちることはなくいい状態で戦っていた。その一方で、守屋も中堅クラスから仕上げ、田口にたつては最悪の状態から日増しに気配を上向かせた。地元の看板レーサーたちの調整力も光ったシリーズだった。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	①	實森 美祐	1	12	1.47.5
2	②	守屋 美穂	2	14	1.48.6
3	③	田口 節子	3	13	1.50.7
4	④	高田ひかる	4	17	1.51.3
5	⑥	清埜 翔子	6	22	
6	⑤	黒澤めぐみ	5	18	

2連単 ①-② 270円 1番人気 抜き
3連単 ①-②-③ 550円 1番人気